

# 課外教養プログラムプロジェクト(KYOPRO) 学生スタッフの活動記録 (2022.3.31 現在)

## 1. メンバー構成：計51名 ※2021年度卒業生を含む

### (1) キャンパス別内訳

- ①市ヶ谷キャンパス 27名
- ②多摩キャンパス 13名
- ③小金井キャンパス 11名

### (2) 学年別内訳

- ①1年生 9名 (小金井2 多摩2)
- ②2年生 15名 (小金井4 多摩5)
- ③3年生 14名 (小金井4 多摩2)
- ④4年生 12名 (小金井1 多摩4)
- ⑤その他 1名



## 2. ミーティング：

- (1) 市ヶ谷キャンパス：春学期 週1回 (曜日不定) / 秋学期 週1回 (曜日不定)
- (2) 多摩キャンパス：春学期 週1回 (曜日不定) / 秋学期 週1回 (曜日不定)
- (3) 小金井キャンパス：春学期 週2回 (曜日不定) / 秋学期 週2回 (曜日不定) 実施

※その他、全体ミーティング (3キャンパス合同) を状況に応じて対面・オンラインを使い分けて、実施した。  
3キャンパスの学生リーダーの会議を随時実施した。

## 3. 実施目的：

- プロジェクト活動を通じた「ピアサポート」活動の展開
- プロジェクト活動を通じた「コミュニティ」の形成、「社会人基礎力」の養成

## 4. 外部団体との交流：

- ・ボランティアセンター学生スタッフ (VSP) 合同企画  
「生理から知るやさしい社会を作る方法～思いやりへの小さな1歩～」

## 5. 担当職員による振り返り：

[市ヶ谷キャンパス] 担当：團之原啓一

2021年度は、1～2年生までの新スタッフを8名迎え、27名で新体制をスタートした。コロナ禍2年目の年であったが、学内での規制も徐々に緩和された為、状況に応じて対面・オンライン形式を使い分けながら、企画を実施する事が出来た。

今年度の学生スタッフ発案企画は、1年間を通して9つの企画を実施した。オンラインで実施した企画「おうちいながら触れ合える！あなたの知らない離島の世界」はコロナ禍による行動制限により、なかなか旅行に行けない学生に対して、東京の離島について知ってもらう企画で、オンライン会議ツールのZOOMを用いて実施した。知る事の少ない離島について学ぶだけでなく、旅行者が多く訪れるようになる施策を考えるグループワークも取り入れたことで、自治体側の視点からも観光について考えられる企画となった。本企画の実施後、参加した学生の多くが式根島を実際に訪れ、観光協会より御礼メールを頂いたり、企画の様子が『東京七島新聞』に掲

載される等、学生や講師に大きな影響を与えた企画であったと思われる。

また、夏季休業期間に実施した、「初めての美術館の歩き方」は『事前学習』と『美術館見学』というボリュームな内容をオンラインと対面形式で2日程に分けて実施するという今までにない方法で実施した。一見、大変な企画かと思われるが、昨年度の経験からオンライン形式での企画実施に学生は慣れていて、当日は大きなトラブルもなく実施が出来た。そして、企画の実施目標として、「コロナ禍によって希薄となってしまった、学生間の交流を活発にさせたい」というものもあった。グループワークを必ず取り入れたり、オンラインでは企画終了後に学生同士で交流出来るルームを別に設けた結果、美術館見学を行った際は、多くの学生が活発に議論の様子や友人同士で参加し、楽しみながら、展覧会を見学する様子が多く見られた。そのような様子から本企画での目標は達成が出来たのではないかとと思われる。

このような工夫は上記の企画だけでなく、2021年度市ヶ谷スタッフの企画に多く取り入れられた。その背景として、『コロナ禍によって、学生間の交流が希薄になってしまったのではないかと』という課題に対して、何かアクションを起こし、学生をサポートしたいという思いが学生スタッフの中にあっただけではないかとと思われる。その工夫の結果として、様々な企画を実施した後に参加者に対して行ったアンケートでは「参加者間で活発に議論が出来て良かった」、「今後もこのような話し合う事が多い企画に参加したい」という意見が多く、工夫の効果があつたのではないだろうか。学生自身で課題を発見し、その解決に向けて工夫や行動を行う姿勢は、今後の学生生活、社会人になっても重要になってくるので今後も大事にして頂きたい。

今年度、実施した企画は、オンラインを駆使して普段は呼べないような遠方にいる講師を企画に招いたり、学内だけでなく、学外に足を運ぶ企画も実施した。例を挙げるとオンラインでは、「おうちにいながら触れ合える！あなたの知らない離島の世界」で、対面では「初めての美術館の歩き方」や「明日の通学が楽しくなる！？市ヶ谷キャンパス周辺地理・歴史ツアー」である。特に、「明日の通学が楽しくなる！？市ヶ谷キャンパス周辺地理・歴史ツアー」では、飯田橋・神楽坂周辺を散策し、地形の特徴や歴史について講演して頂いた。

このように学生スタッフ自身で今までにない企画を作り上げ、既成概念に囚われない企画を実施している姿は非常に印象的であった。そのような姿勢は今後の参加者増への効果が期待できる為、意識して今後も活動に取り組んでほしい。

定例 MTG に話を移すと、今年度はリーダーズを中心に月毎に MTG を円滑に運営する為の目標を設けて、MTG を運営した。市ヶ谷キャンパスでは4月に「ボランティアセンター学生スタッフ・KYOPRO 説明会」を行った結果、多くの学生が見学に来たり、実際にスタッフとして加入したこともあり、4月のMTG目標は「新入生対応を3年だけでなく、2年も行う」、「新入生が来るからカメラオン、反応すること」とした。

その結果、和気藹々とした雰囲気でも MTG を実施する事が出来、多くの新スタッフが加入した。

このように、MTG 運営に対する目標を設定し、それを実現する為に様々な取組を行う姿は非常に印象的であった。これからも積極的に継続をしてほしい。

一方で今後の課題としては、「企画実施に向けたスケジュール管理が甘い」という点がある。2021年度は設定した実施日・実施時期に企画を実施出来ない事が多かった。スケジュール管理を行う役職の学生スタッフに全てを任せるのではなく、MVVの1つである「一人一人がリーダー」を意識し、企画に関わる全ての学生スタッフがスケジュール管理を気にかけて、活動出来るように意識してほしい。

[多摩キャンパス] 担当：佐藤 貴広

2021年度は、新2年生スタッフ3名、新1年生スタッフ1名と計4名の学生スタッフが加わり、オンラインでの活動の中、合計4つのプログラムを企画・実施した。春学期は、プログラムを初めて担当する学生スタッフが「方言から学ぶ私たちの日本語」を実施した。企画書作成や講師交渉等で難しさを感じながらも、無事プログラムを実施できたことで、成長を実感する経験となっただろう。

また、春学期の目標として「1, 2年生に向けた企画（日常に沿うような、馴染みのあるような企画）を作ろう」と掲げており、方言という大学生になって触れる機会の多いものをテーマとしたことは非常に良かった。春学期の定例ミーティングでは「新規に入ってきた人への全体的なサポートを考える」という目標のもと、上級生がミーティング内だけでなく、終了後にも積極的にサポートしたおかげで、「置いて行かれることもなく、早めに慣れるこ

とができた」と、スタッフの定着化にも繋がった。

秋学期は、「語り継がれるギリシア神話の魅力」「覚えておきたいフラワーギフトの心得」「リアル忍者が語る忍者」と非常に幅広いプログラムを実施した。「語り継がれるギリシア神話の魅力」では、講師候補をなかなか見つけることができなかったが、学生スタッフが根気強く講師を探した結果、ようやく見つけることができ、予定より2カ月遅れでプログラムを実施することができた。一つのプログラムを簡単にあきらめずに成し遂げることができたのは、今後の多摩KYOPROにとっても良いことであった。

「覚えておきたいフラワーギフトの心得」では、企画班を作らず、学生スタッフ一人で企画準備を行った。企画からポスター制作、当日運営マニュアル作成と多くのことを一人でやることは非常に大変なことであるが、周りのKYOPROスタッフにも刺激を与えたことだろう。「リアル忍者から学ぶ忍者」では、学生スタッフの協力を感じられるプログラムであった。企画班の中で、役割分担を的確に行い、2021年度の集大成と感ぜられる良いプログラムであったと思う。

また、秋学期は「企画を通してKYOPROをアピールする」という目標のもと、プログラムの中でのKYOPRO説明の仕方やプログラム参加募集メール時の宣伝の仕方を工夫した。学生スタッフ同士で、興味の湧く宣伝について話し合いを行い、プログラム時に取り入れた結果、プログラム参加学生の入会があった。さらに、参加学生目線を意識したので、秋学期企画プログラムは満足度平均93%となった。

そして、2021年度年間目標は「幅広いジャンルの企画を作ろう」であり、文化や宗教、スキルといった幅広いジャンルで実施できた。

このように2021年度は、コロナ禍で思うようにコミュニケーションが取れない中、目標を達成できた年になったといえる。新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も制限がかかると思うが、徐々に対面でのプログラムを実施できるようになるだろう。その際に、「第3のコミュニティの提供」「よりニーズが高いプログラムの実施」を達成できるように、学生スタッフの活動に期待したい。

[小金井キャンパス] 担当：菅野 渉

2021年度のKYOPROは、新型コロナウイルス感染、新たに3名のスタッフを加え11名で活動を行い、「月に1つのプログラムを実施する」ことを目標に春学期は1プログラム、夏季休業中に1プログラム、秋学期に3プログラムを実施した（昨年に引き続き全てZoomで実施した）。

春学期は昨年の経験を活かし、年度持ち越しとなっていた卒業生スタッフが企画したプログラムを実施することができた。ミーティングはZoomが中心となったが、スタッフ達もコロナ禍2年目の活動に慣れてきたこともあり、オンライン上であってもスムーズに話し合いを進めている様子であった。

夏季休業期間中には「1・2年生に企画書の作成」、「授業期間外にプログラムの実施」という新たな試みも行うことができた。

どちらも春学期も終盤に近付くころ、リーダーとサブリーダーのスタッフより相談があり実現できたのであるが、企画書の作成については新スタッフをミーティングに集め、先輩スタッフが一度に指導したいところではあったが、学生たちも夏休みに入ったこともありスタッフの出席率があまり良くないこともあり、動き出しは苦戦を強いられることとなった。

しかし秋学期に入り、企画書が完成しはじめると慣れないながらも企画を動かし始めスケジュールやToDoを確認しながら結果として1・2年生発案のプログラムを2つ実施することができた。企画後のKPTの際にも「企画の準備を通して準備の大切さや業務の分担など色々なことを学ぶことができた」といった感想も得られ少しずつではあるがスタッフが成長してきていることを実感している。この感覚を忘れずに次の世代に引き継いでいってほしいと考える。

夏季休業期間中に実施したプログラムは、サブリーダーのスタッフが発案したものである。「授業実施期間ではない」ことを鑑み、参加者が興味を引きそうなプログラムの内容、この時期であるからこそ実施ができるプログラム時間などを考えつつ結果として多くの参加学生に申し込みをしてもらうことができた。一方でプログラムを短期間で実施する必要性があったため、2名のスタッフのみで準備を行ったが、結果としてスタッフにかなりの

負担がかかってしまった。少人数でプログラムを実施する場合、意思決定のプロセスは早いものの、運営に関わっていないスタッフが経験し成長することなく時間が過ぎてしまうので、次年度企画実施の際は注視していきたい。

2021年度は運営の中心であった3年生が研究室配属や就職活動や大学院進学準備などで活動頻度が落ちていく中でもある程度の出席率を保ってもらえた点には感謝してもしきれない。プログラムのノウハウをミーティングなどでレクチャーしてもらえた点は次年度確実に生きてくると思われる。一方で現在の2・3年生には中心スタッフとしての奮起が求められる。KYOPROのMVVのビジョンにある「一人ひとりがリーダー」を体現できるように頑張ってもらいたい。次年度は「今後は対面の企画も実施したい」という要望も出ており、小金井キャンパスでの対面の実施に向けて会議体への資料の作成などをスタッフと協力しながら進めている。約2年実施できていない対面でのプログラム実施を実現させ、スタッフ自身の達成感と成長を促せるように日々の活動をサポートしていきたい。

# 2021年度プログラム実施一覧

	実施日	プログラム	申込者数	参加者数	留学生数
実施プログラム (春学期)	4.15 (木)	●大学生からのコミュニケーション (市ヶ谷)	24	13	0
	4.16 (金)	●大学生からのコミュニケーション (小金井)	13	3	0
	4.19 (月)	●大学生からのコミュニケーション (多摩)	22	14	0
	5.29 (土)	●アニメから学ぶ社会構造の変遷 (小金井)	20	20	0
	6.12 (土)	●歌舞伎鑑賞教室-日本文化を学ぼうシリーズ	29	26	6
	6.14 (月)・16 (水)	●多目的室利用講習会 (①、②)	31	31	0
	6.16 (水)	●能楽鑑賞教室-日本文化を学ぼうシリーズ (事前学習)	22	15	1
	6.21 (月)	●オレンジホール利用講習会	22	22	0
	6.23 (水)	●能楽鑑賞教室-日本文化を学ぼうシリーズ (鑑賞教室)	22	15	1
	6.24 (木)	●方言から学ぶ私たちの言語表現	9	7	0
	7.1 (木)	●魚で学ぶあなたの知らない地球温暖化	27	23	0
	7.6 (火)	●三曲体験教室	10	6	0
	7.13 (火)	●生理から知る「やさしい社会」を作る方法～思いやりへの小さな一歩～ KYOPRO×VSP 共同企画	31	31	0
	8.4 (水)	●初めての美術館の歩き方 (事前学習)	20	20	0
	8.5 (木)	●初めての美術館の歩き方 (美術館見学)	20	18	0
9.7 (火)	●アイデア実現の力がつくワークショップ	20	20	0	
9.16 (木)	●学校生活が充実?! より良い睡眠への第一歩	20	15	0	
実施プログラム (秋学期)	9.18 (土)	●目指せ一休さん! 水平思考で身に付ける自由自在な発想力	30	16	0
	10.25 (月)	●語り継がれるギリシア神話の魅力	25	13	1
	11.4 (木)	●おうちにいながら触れ合える! あなたの知らない離島の世界	20	15	0
	11.8 (月)	●ライオンキング鑑賞教室 (事前学習)	25	14	0
	11.9 (火)	●ライオンキング鑑賞教室 (鑑賞教室)	25	25	0
	11.22 (月)	●覚えておきたいフラワーギフトの心得	14	7	1
	11.26 (金)	●自分の考えちゃんと伝わってる? 正確に伝えるデザイン	30	17	0
	12.3 (金)	●ヘッドネーションって何だろう? ~Be Yourself 自分らしく生きる~	13	9	0
	12.10 (金)	●見え方が360°変わる! ?法大生がイチから学ぶ自治体のシゴト	23	13	0
	12.14 (火)	●危険ドラッグの恐ろしさ ~薬物乱用防止セミナー~	209	209	2
	12.17 (金)	●明日の通学が楽しくなる! ?市ヶ谷キャンパス周辺地理・歴史ツアー	15	13	0
	12.19 (日)	●法政スポーツを応援しよう! 甲子園ボウル応援ツアー	20	20	0
	12.20 (月)	●リアル忍者が語る忍者	20	11	0
3.4 (金)	●意外と知らない? 災害・防災知識	20	10	0	

31 プログラムに、約 700 名参加

\* 上記は学生スタッフが企画・実施したプログラムだけでなく、既存プログラムなど学生センターが実施したプログラムを含む。